

三重県立尾鷲高等学校生徒会にオリジナルヘルメットを贈呈

～交通事故防止・ヘルメット着用義務化を周知～

日本損害保険協会三重損保会（会長：加藤 亮二 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 三重支店長）では、三重県警察本部の協力のもと、三重県立尾鷲高等学校生徒会に自転車ヘルメットを贈呈し、9月29日（金）に、同校で贈呈式が開催されました。

本取組みは、三重県警察本部が県内に在学する高校生にセーフティ・バイシクルリーダーを委嘱し、模範的な自転車運転等を通じて自転車交通秩序の実現を図る活動をしている中、三重損保会としてもその活動や交通事故防止に貢献したいと考え、同会からセーフティ・バイシクルリーダーの活動用オリジナルヘルメットを贈呈しているものです。

当日は、三重県警察本部交通部の高橋首席参事官からの挨拶と委嘱状の交付の後、加藤損保会長からヘルメットの贈呈がありました。

贈呈したヘルメットは、同校美術部および書道部の皆さんにステッカーを作成いただいて貼付したため、同校オリジナルのヘルメットになりました。目を引くデザインのため、模範となるセーフティ・バイシクルリーダーの活動の一助になると考えます。

当支部では、今後も三重県警察ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



<ヘルメット贈呈の様子>



<(後列右から)高橋首席参事官、奥地校長、加藤損保会長>



<贈呈したヘルメット1>



<贈呈したヘルメット2>